

## ディボーション質問表



### 13日 (月) ヨエル書 1:1~2:11節 災害の警告

南ユダ王国は、当時いなごの大襲来を体験したようです。ヨエルはこの事件を神様の裁きとしてとらえ、すべての国民に悔い改めを迫りました。

1. ヨエルはどんな立場の人々に、いなご襲来について問いかけていますか(2、5、11、13節)? なぜヨエルは彼らに問いかけたのでしょうか。神様の前で悔い改めるべき生活をしていたのでしょうか? わたしたちの生活を振り返ってみましょう。
2. このような状況でヨエルは何をしていますか(19~20節)? → わたしたちは苦しみに合う時、あたふたしたり怒ったりするのではなく、神様にみ心を求めるようにしているのでしょうか?
3. 彼らが出会ったいなごの大襲来はどのようなものですか(2:1~11節)? → 大自然を支配される神様をいつも覚えているのでしょうか? 神様がこの世に介入される時わたしは神様のみ手を感じているのでしょうか?

### 14日 (火) ヨエル書 2:12~27節 繁栄の約束

1. 天変地異の中でヨエルは何と問いかけていますか(12~17節)? → わたしは、神様を敬う集会や仲間間に所属しているのでしょうか? そこで悔い改め、神様を敬う謙虚さを持っているだろうか?
2. 神様の約束は何ですか(18~27節)? 今まで回復を体験したことがありますか? → わたしは、聖霊に満たされて生きているのでしょうか?

### 15日 (水) ヨエル書 2:28~3:21節 諸国民への審判

1. 証となる御霊の賜物(2:28節)を活かしているのでしょうか?
2. 3:1節から神様は、終末について語り、霊的な祝福について述べます。神の民にひどいことをした国々はどうなりますか(1~8節)? 神様は神の民に何と勇気づけていますか(9~11節)? → わたしたちは、神様にあって勇者となれることを確信し、自信に満ちて生きているのでしょうか?
3. 南ユダ王国はどのような祝福を受けると約束されているのでしょうか(16~21節)?

### 16日 (木) アモス書 1:1~15節 諸国に対する審判1

アモスは謎が多い人物です。アモスは他のどの書物にも出てきません。もしかすると一介の牧者、農夫にすぎなかったが、神様から選ばれ神のメッセージを国に伝える努めが与えられたのかもしれない。

1. ダマスコ(シリアの都市)の人たちのように、周りの人にあわれみを示さず残虐なことをしているところはないだろうか(3~5節)?
2. ガザ(ペリシテの5大都市のひとつ)の人たちのように、人を利用したり、奴隷のように支配していたりしているところはないだろうか(6~8節)?
3. ツロ(古代地中海世界の最重要港町のひとつ)のように、約束を軽くとらえ破るような不忠実な面はないだろうか(9~10節)?
4. エドム(ヤコブの兄エサウの子孫)のように、家族を大切にせず、悪友との関係に埋もれているところはないだろうか(11~12節)?
5. アモン(アブラハムの親戚ロトの子孫)のように、非道なことをする怒りに捕われているところはないだろうか(13~15節)?

### 17日 (金) アモス書 2:1~16節 諸国に対する審判2

1. モアブ(北はアモン、南はエドムに接している国)は何をしたと言われているのでしょうか(1~3)?
2. ユダ(4~5節)のように、神様の教えを捨てて、自分の欲を満たす偶像崇拜の心を持っていないだろうか?
3. イスラエルはどのような罪を犯していましたか(6~8節)? そのような非道の国に神様は今までどうされていたのでしょうか(9~12節)?

### 18日 (土) アモス書 3:1~15節 イスラエルの特権とさばき

1. 選ばれた民として、神が友となるはずのイスラエルでしたが、偶像礼拝等で自ら背を向ける事により、その友情関係にヒビを入れてしまいます。わたしたちはどのような事を通して、神様との友情関係を壊してしまう可能性があるのでしょうか?
2. 12節には当時の帝国アッシリヤによる攻撃と、かろうじて残された民の存在が記されています。罪の世界の中にも残された民のいることは私たちに何を教えているでしょう。またその事は私たちの生活をどのように変えるのでしょうか?